

対象国の条件 : 感染症蔓延のリスクがある、また、感染症対策実施中、計画中の国々が優先。

研修コース番号 : 201984434-J002

案件番号 : 201984434

主分野課題 : 保健医療/その他感染症

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

医療関連感染対策には、標準予防策の普及と感染症コントロールチームを基軸とした適切な医療関連感染管理システムの構築が不可欠で、行動変容のためにはスタッフの意識改革を必要とする。本研修では、医療関連感染対策の知識や技術の習得に加え、病院の組織体制やスタッフ教育に必要なスキルについてまでを学び、感染症対策のための、より強靱な保健システムの強化を目指す。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
参加者の所属施設において、効果的な医療関連感染対策が実践できるようになる。

【対象組織】
医療関連感染対策組織またはそれに準ずる組織を有する、中核レベルの保健医療施設

【成果】
1. 医療関連感染対策の基礎について理解する。
2. 医療関連感染対策の実践するための知識・技術を習得できるようになる。
3. 研修成果をふまえ、自国及び所属施設における院内感染対策に関わる課題を特定し、その解決のための計画をまとめたレポートを作成する。

【対象人材】
<職位>
1. 管理職者（病院長等）、2. 医療関連感染対策担当者
の参加が望ましい。
<職務経験>
2. については、医師、看護師、助産師、その他の医療従事者で、臨床にかかる経験年数が5年以上であること。

内容

1. 医療関連感染対策のための基礎知識を理解する：日本の医療関連感染対策の変遷・保健医療システム、医療関連感染対策のための組織とその活動システム、感染管理看護師とリンクナースの役割と活動
2. 医療関連感染対策を実践するための知識及び技術を病院見学や実習を通じて習得する：標準予防策、感染経路別予防策、実習（手洗い、マスク、ガウン等のテクニック）、医療関連感染対策のための環境管理、機材の洗浄・消毒・滅菌の方法、院内感染サーベイランス、疫学、院内感染発生時の調査法、感染性廃棄物の管理・処理施設の見学、抗生剤の適正使用、新感染症における医療関連感染対策模擬事例 シミュレーション
3. 自施設における医療関連感染対策に関わる問題を特定し、それを解決するための計画を作成する：5S-KAIZEN-TQM、開発途上国における医療関連感染対策の事例検討、自国・自施設の問題点の整理、ファシリティレポートの発表・討論、研修成果をふまえた課題解決のためのディスカッション、課題解決するための計画をまとめたレポートの作成

※本研修では、KCCP「知識共創（Knowledge Co-creation）」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間	2020/1～2020/1
担当課題部	人間開発部
所管国内機関	JICA東京（人間計画）
関係省庁	厚生労働省
実施年度	2017～2019

主要協力機関 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

特記事項及びホームページ 国立研究開発法人国立国際医療研究センター <http://www.ncgm.go.jp/>